

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆トランプ関税回避で米投資加速、1～7月2割増26兆円 日鉄やTOPPAN

・日本企業による米国向けの投資が加速。1～7月の投資実行額は前年同期比20%増の26兆1751億円と、海外投資全体の約半分を占めた。米国経済の成長期待を背景に企業のM&A(合併・買収)が活発化した。トランプ関税による輸出コストの高まりを受け、現地の生産能力を引き上げる動きもある。

◆日経平均株価、初の4万4000円台 一時500円超高で最高値上回る

・9日の東京株式市場で日経平均株価が続伸し、取引時間中として初めて4万4000円を上回った。石破茂首相が退陣を表明し、次期政権が大規模な経済対策を打つとの思惑から、海外投資家の買いが入った。米利下げの思惑から前日の米株式相場が上昇したことも投資家心理を上向かせている。

◆JR東日本、2035年までに山手線で自動運転 鉄道事故は3割減目標

・JR東日本はJR山手線に2035年までに運転士が乗車しない自動運転システムを導入すると発表した。新幹線にも30年代半ばに入れる計画で、導入後は他の路線に順次広げる計画。人手不足が深刻になるのを見据え、業務効率を高めて人員配置を最適化する。安全への投資も進め、鉄道事故を31年度までに23年度比で3割減らす目標を掲げた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆8月の工作機械受注8%増 海外堅調で2カ月連続プラス

・日本工作機械工業会が発表した8月の工作機械受注額(速報値)は、前年同月比8%増の1197億円だった。プラスは2カ月連続。国内向けは減ったものの、海外向けが増えて補った。先行きについて「減税や工場誘致策を進める米欧で、設備投資が増えると期待している」(日工会担当者)とした。海外向けは12%増の879億円だった。

◆CO2排出量などサステナ情報開示、27年3月期から義務化 市場も熱視線

・製品の生産や流通時に発生する二酸化炭素(CO2)の排出削減など、持続可能な社会の実現に向けた企業の取り組みに関する情報を公表する動きが広がっている。日本では2027年3月期から順次、有価証券報告書(有報)での開示が義務化される。株式や債券などの投資家は、投資判断の重要な材料として活用している。

◆風力発電の廃棄費用、27年度にも積立義務化 不法投棄防止へ経産省

・経済産業省は風力発電設備の不法投棄を防ぐために、発電事業者には廃棄費用の積み立てを義務付ける方針。2027年度にも開始する。太陽光発電では22年から同様の制度が始まっている。増加が見込まれる風力発電の設備の適切な廃棄につなげる。再エネ特措法に基づく政省令を改正する。陸上や洋上の風力事業者が対象となる。

《 注目商品 》

■リンナイ、「GRILLER(グリレ)」10年ぶりにモデルチェンジ

・重厚感のある鋳物五徳とガスならではの強火力が特長のビルトインガスコンロを10年ぶりにモデルチェンジ。鋳物五徳は直線的で堅牢なデザインに刷新し、3つの五徳が1つの大きな面となるように構成。点火つまみを従来品より6mm大きくし、操作性に配慮。



■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。



■ニチベイ、調光ロールスクリーンに遮光生地4色を追加

・フロントレース生地、スラット、バックレース生地の3層からなる立体生地構造により細やかな調光、眺望のコントロールが可能なロールスクリーン。採光と遮蔽を兼ね備えた上質でマットな風合いの遮光生地「シュプーロ遮光」を追加。

